

## 魚道(水路魚道)

### ⑧片斜面粗石付魚道

#### 【概要】

粗石付斜路型魚道に、横断面も傾斜を設けることによって多様な流れと水深を創出した魚道。体高の高い魚類など、より多くの魚種の遡上が可能になります。

#### 【配慮ポイント】

移動経路の確保(水路内の連続性の創出)

#### 【保全対象生物】

スナヤツメ p.13/コイ p.14/フナ類 p.15/タナゴ類 p.16/アブラハヤ・タカハヤ p.17/ウグイ p.18/モツゴ p.19/タモロコ p.20/ドジョウ p.21/シマドジョウ・スジシマドジョウ類 p.22/ホトケドジョウ p.23/ギバチ p.24/ナマズ p.25/アユ p.26/イワナ p.27/ヤマメ p.28/陸封型トゲウオ類 p.29/メダカ p.30/ドンコ p.31/ヨシノボリ類 p.32

#### 【施工例】

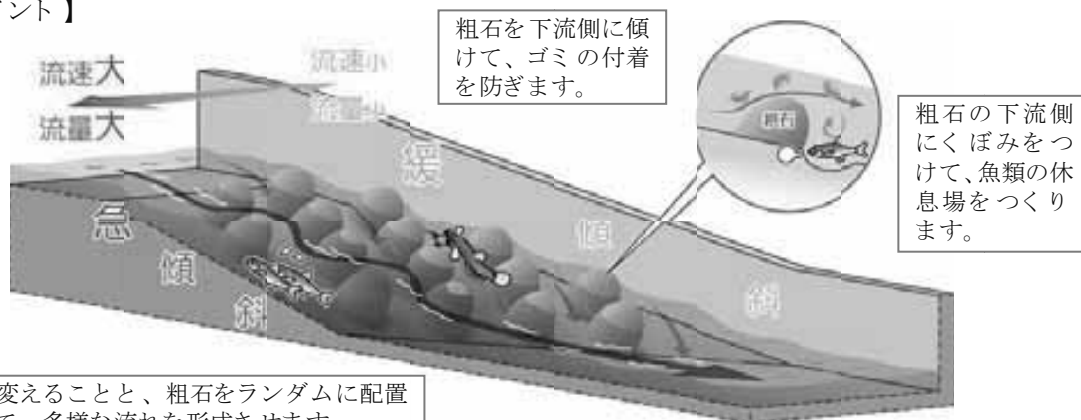


(福井県大野市 下舌・上黒谷地区)



高強度布製マットを用いた例  
(栃木県 西鬼怒川地区)

#### 【設計上のポイント】



左右岸の傾斜を変えることと、粗石をランダムに配置することによって、多様な流れを形成させます。

設置箇所	・水路の落差工に設置します。現況水路と同じ幅で設置できます。
計画・設計・施工時の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左右岸の勾配に変化を持たせて流れを扇状に偏らせ、水深と流速を変化させます。</li> <li>・粗石は、魚類を傷つけないことと、乱流を発生させないために、滑らかなものを使用します。</li> <li>・粗石をランダムに配置することにより、多様な流れを創出します。また、下流側に傾斜させて設置すると、ゴミなどの漂着物の引っかかりを防ぐことができます。</li> <li>・粗石の下流側にくぼみを付けることによって、魚類の休息場をつくります。</li> <li>・表面仕上げが不要な高強度布製マット(コンクリート二次製品)を使用すると、工期の短縮ができるほか、マット表面の起伏により多様な流れが形成されます。</li> </ul>
維持管理	・平水時は水深確保、増水時には排水阻害とならないような構造となっていますが、ゴミの付着と水深の確保は、常に留意するようにします。
モニタリングと順応的管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚道上流端に定置網等を設置して遡上状況を確認します。</li> <li>・遡上が確認されない場合は、設計を再検討し、水量、越流水深、ゴミなどの堆積を確認して改善します。</li> </ul>
施工単価(例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規模: 柵渠幅 3.0m、柵渠深 0.9m。</li> <li>・形状: 柵渠底板にコンクリートを敷き、玉石・多孔質人工石等を埋め込む。</li> <li>・82,900 円/m。</li> </ul>